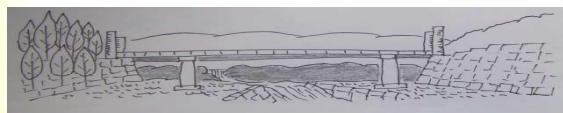


まゆだま

2011. 5. 31 発行
No. 346



連絡先：高田（榎原小学校）
東京歴教協 八王子支部

～ 震災から2ヶ月が過ぎましたが、まだまだ解決の糸口も見えない原発問題。東京でも節電必死の夏を前に、屋外でフィールドワークができる幸せをかみしめています。そんな八王子の町並みは、見学の一団を温かく迎えてくれました。～

5月の例会報告：「八王子宿を歩く」



【大和田橋】
関東大震災後の復興計画の一環として1927年（昭和2年）にコンクリート橋に改架、その後2度改修される。

【八王子宿とは】
横山宿・八日町宿・八幡宿・八木宿の4つを中心として八王子の甲州街道沿いに栄えた宿場町のこと。今回は、京王八王子駅前から大和田橋に向かいました。そこから、追分の交差点にある八王子千人同心の碑までを、3時間半かけて歩き、学びました。

【教師の学び】
新人・2年目も先輩達に連れられて、この日初めて八王子の地に足を踏み入れたのでした。さて、どんな1日に???



【市守大島神社】
1590年（天正18年）、八王子城落城後の新しい八王子の宿を整備するにあたって、倉稲魂命（うがのみたまのみこと）を守護神として創建された。市守稲荷とも呼ばれ、商売繁盛の神として信仰されている。現在でも毎年11月の酉の日に商売繁盛を祈願する「お酉さま」が行われている。という神社である。



【蔵作りの商店】
江戸期から明治初期の甲州街道の宿名。横山宿とともに15宿の中心地。宿名は三斎市で8の日に市が立ったことによる。ここは現在でも商店として使われており、そのレトロな風景と商品について昭和の匂いを感じてしまい、見学者が大挙するのは今も良く目にする風景のようである。しかし、現在ではこのような造りの建物も、数少なくなる。

【石見陣屋跡地】
大久保長安は、幕府の代官頭として八王子宿建設に当たり、街並みの南側に陣屋を置きました。長安は千人同心の組織化や、千人町の成立にも尽力しました。（場所は小門町、産千代稲荷神社境内）近くの住宅街にはお風呂屋さんがあり、歩いた後の疲れも癒すのが楽しみというような場所かもしれません。この日は残念ながら、そんな余裕はありませんが。（いつかは行ってみたいなあって・・・）



【追分の道しるべ】
1811年（文化8年）江戸の清八という人が甲州街道の新宿、八王子、浅川の3追分に建てて、通行者の道しるべに供した。「甲州街道3追分の碑」の1つで高さ2m。碑面には「左甲州道高尾道」「あんげ道、文化八年六月 江戸清八」と刻まれていたが、1945年（昭和20年）8月2日の八王子空襲により割れたが現在は復元されている。この碑を見る参加者の熱意に、近くの交番の警官が、何かと出てきて様子を見ていました。

- 1、京王八王子駅（集合場所／明神町）
- 2、大和田の渡し（大和田町）
- 3、竹の鼻一里塚（新町）
- 4、市守神社（横山町）
- 5、横山宿（横山町）
- 6、八日市宿（八日町）
- 7、八幡宿（八幡町）
- 8、八木宿（八木町）
- 9、追分の道標（追分町）
- 10、産千代稲荷神社（小門町）

この日のコース



フィールドワークに参加した皆さんの感想

- 八王子市生まれの私にとって、今日は地元を再認識した勉強会でした。また、お願いします。
- 奥深い説明会で良かった。次回もお誘いをお願い致します。
- 八王子宿の広がり方がとても興味深かったです。歩きながら、その当時にはどんな人がどのような生活をしていたのかと想像してしまいました。今日の学びを、拝島宿の学習とつなげていきたいと思えます。
- 大和田の渡しとか、気になっていたことが解決できました。八王子の少々の歴史を学ぶことが出来て良かったです。
- 普段、何気なく通り過ぎている町の歴史を見ることができ、有意義な時間を過ごさせていただきました。活動時間的にもちょうど良かったと思えます。ありがとうございました。
- 八王子市の歴史について、ほとんど知識がなく過ごしていましたので、今日参加して、すごく勉強になりました。ありがとうございました。
- 地元に住んでいるのですが、いろいろと歴史的なことがよくわかり、楽しく歩くことができました。今日は、ありがとうございました。
- いつも見ているけどよく分からなかった場所や、名前は聞いたことがあるけど分からなかったものについて知ることができ、さらに勉強してみたいと思えました。これから子ども達に伝えていけるよう、自分でも詳しく調べてみようと思えます。
- 八王子に住んで20年になりますが、ほとんど八王子の歴史は知らなかったもので、非常に新鮮な発見があった。八王子宿の人口が6000人あり、内藤新宿の2000人と比べて、大きな宿場町であったことに驚いた。甲州街道沿いの古い壁の商家が残っていたのが印象的であった。どうもありがとうございました。楽しい1日になりました。
- 今日はありがとうございました。実際に八王子宿を自分の足で歩き、たくさん学ことができました。本やインターネットで調べるよりも、足を運ぶことで生きた教材を集めることができると感じました。子どもに教えるには、教師が100%理解していることが不可欠だということをあらためて感じました。昔の風景を想像しながら歩くことができました。見学で、とても丁寧な説明と教材(ブックレット&道中手形)でたくさん勉強させていただき、ありがとうございました。



大和田橋

日野宿を出て八王子に近づくと、はるか南に高尾山、その右手にはかつての八王子城一深沢山が見えてくる。いよいよ八王子宿ま近になると、浅川の流が旅人の足を止める。大和田の渡しは4月より9月までは「歩行」で越すことになっていた。川越人足がここで客を待っていたことだろう。10月から3月は大和田村が中心になって仮の土橋をかけることになっていた。旅人は橋を渡って八王子宿に到着した。

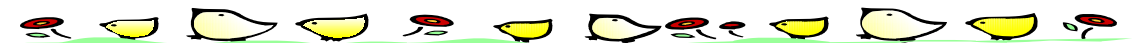
■晴れた5月のさわやかな午後1時、集合場所に行ってビックリ、なんと20名以上の参加者が待っていたのです。ガイドの私は用意した小旗を掲げて、なにやらツアーのガイドになったような気分でした。参加者は普段、山に登っている方々、現職の教師の方々、OBの方々など、多彩な顔ぶれで、八王子宿の名所、旧跡を巡りました。初めて八王子を訪れた方は宿場のおもかげを残した街並みに歴史を感じていただけただけのことでしょう。地元からの参加者の方には途中で説明をしていただき、有り難かったです。何度か歩いた私も、歩くうちに新たな疑問が出てきました。この見学会をきっかけにして、江戸時代の八王子について研究がさらに進めばと、思っております。

(案内人：栗原)

今回は、たくさんの方にお集まりいただき、資料もお寄せいただきました。ありがとうございました。次の機会にも、ぜひ御参加下さいませ。皆様を、お待ちしております。

— 6月例会のご案内 —

6月例会：「小学校3年生～はじめての地域学習～」



日時：2011年6月11日(土) 14:00~16:30頃

場所：浅川市民センター (JR高尾駅北口徒歩8分)

報告者：井手 和佳子さん(啓明学園初等学校)

内容：はじめての地域学習で、小3の子ども達が学んだことは何か？
教師の準備や見学の方法、そして苦労話など、共に考え、学び合う例会です。どうぞ御参加下さい。お待ちしております。